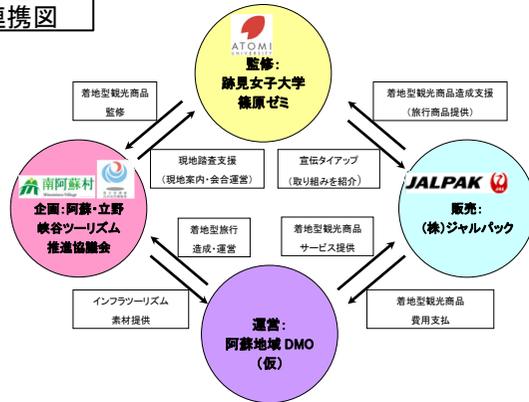


産学官連携による「南阿蘇観光未来プロジェクト」の始動、モニターツアーの開催1/2

○ハツ場ダム(群馬県)において、「ダム工事現場」を活用したインフラツアーを開発した「跡見学園女子大学」と「『阿蘇・立野峡谷』ツーリズム推進協議会」、(株)ジャルパック等の産学官が連携し、**南阿蘇地域の熊本地震からの復興を観光の力で支援する「南阿蘇観光未来プロジェクト」を平成30年5月より始動。平成30年11月3-4日にモニターツアーを実施。**

■「南阿蘇観光未来プロジェクト」の概要

連携図



南阿蘇村における現地視察及び第1回企画会議(平成30年6月8-10日)



- ・立野峡谷(立野ダム建設地)周辺の特徴をどのようにPRしていくか、インフラツアーの商品化に向けた今後の進め方等の議論を実施。
- ・観光を学ぶ学生の自由な発想と地元の観光関係者の熱い想いをつなぎ合わせて、今後、インフラツアーを具体化していくため調整を推進。

一般客18名含む定員30名が参加 1日目

ジオ&インフラツアー。阿蘇の秘密から立野ダムとの繋がりを面白くかつ、徹底的に解説出来るようシナリオを作成。

ジオガイドと女子大生の掛け合いによる解説を実施。

南阿蘇観光未来プロジェクトモニターツアー 1日目(11/3)

俵山峠展望所	ジオツーリズム
東急ゴルフクラブ	立野ダムカレー
阿蘇大橋崩落現場	防災ツーリズム
村道断層	
立野ダム展望所	ジオ&インフラツーリズム
立野ダム工事現場	ジオ&インフラツーリズム
Eポート体験	
リムトンネル	インフラツーリズム
2日目(11/4)	
阿蘇山中岳火口	
地獄温泉 清風荘	ウォーキングツアー
南阿蘇鉄道	レストランレイン
道の駅「あそ望の郷ぎの」	地元の復興支援

ジオ&インフラツーリズム

阿蘇ジオパークガイド協会と連携し、説明シナリオ作成。阿蘇カルデラの形成、立野峡谷が裂けて、湖水が流出したことにより人々の営み・生活がある阿蘇カルデラが誕生した。全ての阿蘇はここ立野峡谷から始まったという物語からの説明。



阿蘇ジオパークガイド協会の児玉会長と女子大生とのコラボによる解説



普段は入れないダムサイトにて。特別な記憶に残る現場体験

ダムの説明のみに留まらない興味を引くシナリオ構成、掛け合いによる解説を実施

防災ツーリズム



実際に被災を経験したガイド協会員からの貴重な体験談



工事進捗状況も熊本復興事務所より解説

産学官連携による「南阿蘇観光未来プロジェクト」の始動、モニターツアーの開催2/2

2日目

地元の復興支援も盛り込んだ新たな観光商品企画を具体化。阿蘇火口見学後、建物が大きな被災を受け開業に向け鋭意復旧中である地獄温泉清風荘周辺の紅葉散策及び入浴体験。

・熊本地震により被災し、一部区間が運休中である南阿蘇鉄道。現状の運行区間にてトロッコ車両を活用し、レストランレインを実現。地元食材・水を使ったランチ、デザート、コーヒーを提供

→**モニターツアーを通じて磨いた観光のパーツを、今後の着地型観光商品開発の参考に活用**



普段体験できない現場(トンネル内)潜入



南阿蘇鉄道第一白川橋梁と立野峡谷を堪能

地獄温泉清風荘の紅葉散策ツアー&足湯入浴



紅葉散策道中にみえる斜面は熊本地震による被災の爪跡。旅館の建物も含め周辺も復旧途中である様子を社長の体験談(解説)付きでご案内。地震後も変わることなく沸き続けている「すずめの湯」

**平成31年4月
立ち寄り湯を再開予定**

女子大生と地元の皆様で企画したレストランレイン



地元食材を使用した「ピクニックランチ」を列車内で提供。「久永屋」のシフォンケーキをデザートに。阿蘇白川駅のカフェで特製コーヒーを。

■ 報道状況:各報道機関で大きく取り上げられており、PRに成功

- ・西日本新聞【5月の東京でのキックオフ会議の記事を掲載】
- ・旬刊旅行新聞(平成30年6月21日)の1面全面を使って内容を掲載
- ・「旅」を軸にしたニュースを日々提供するメディアTravel watchのHPIに特集記事として掲載。
- ・熊本県民テレビ、熊本朝日放送の夕方のニュースで紹介
- ・世界最大級の「旅」の祭典である、「ツーリズムEXPOジャパン2018in東京ビッグサイト」にてツアーや南阿蘇村についてPR(来場者20万7000人！南阿蘇村観光協会や事務所長も壇上でPR)



◆企画部門(いい旅、あたらしい旅の創造に特に寄与頂いた観点より選出)

金賞:「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会・九州地方整備局 立野ダム工事事務所・跡見学園女子大学篠原ゼミ
銀賞:ラッキー自動車株式会社(長崎県) 他計14施設・1団体